



立神峡だより

今年も宿泊通学で元気な氷川っ子を受け入れ

今年も宿泊通学で元気いっぱい氷川っ子を受け入れました。

竜北東小・宮原小・竜北西部小の順に受け入れました。宮原小は、今年は2クラスになり、計4回、2泊3日で里地屋敷での生活体験を行いました。かまどを使ったご飯炊きや料理、五右衛門風呂のお湯沸かし、お風呂入り、鋸切り体験、竹馬体験、里山の散策など、盛りだくさんです。これらの体験を通じて、昔ながらの生活体験や、親に対する感謝の気持ちを伝えたり友情の大切さや絆を分かち合えるように様々なカリキュラムを用意しました。特に、ウナギとアユのつかみ取りを体験の中に取り入れたところ、大好評でした。児童たちは、始めは恐る恐る触っていましたが最後には何回もリクエストがあり、アユの匂いがキュウリやスイカのような匂いがすることに感動していました。



台湾から里山の状況を見学

9月8日(日)には、里山500選に選ばれている立神地域を台湾からの視察団が訪れました。一行は熊本市で開催された里山シンポジウムに参加した台湾の行政院農業委員会林務局の皆さんです。

里山保全隊の活動や里山インターン学生との取組みや立神峡公園での取組みについて説明したところ、次々に質問されました。耕作放棄地への取組みや課題はどれも一緒に、里山の美しい自然やそこに住む生物との共生など課題は山積みしていることから、意見交換をして国際交流を深めることが出来ました。最後に、天然の鮎の塩焼きをご馳走したところ、大感激しておられました。



氷川の水はきれいだったよ

9月6日(金)に立神峡里地公園付近で竜北東小の4年生が水生昆虫観察会を行いました。

川の環境調査隊長である浅野一登氏の水生生物の豊富な知識を踏まえた説明のおかげで、氷川に棲む水生生物について楽しく学ぶことができました。

この活動を通して、普段は何気なくながめている氷川にたくさんの生物が生息していることに、驚きの声が出るところからあがっていました。

また、カワゲラ、タニガワカゲロウなど、きれいな川にしか生息していない水生昆虫がたくさんいることを確認し、氷川の水はきれいだと再確認することができました。

川に入る機会が少ない子どもたちにとっては、川の観察体験は新鮮な印象を与えたようです。



【お問い合わせ】 立神峡公園管理棟
☎ 62-1543 FAX62-1546 (8:30~17:30 火曜定休日)

ホームページ
<http://tategami-camp.com>

町民文化

短歌

久々に出会し旧友と語らうも
 名前浮かばず気が苛立つなり
 北野津 宮本 末秋
 秋来ぬと百舌鳥のおどろく夕まぐれ
 氷川を渡る風の音して
 北野津 井田 道寛
 孫曾孫合せて十九人盆参り
 田舎料理に歓声あがる
 西野津 古崎スエノ
 お彼岸の法話笑ふありしみじみと
 普通暮す生く幸ありぬ
 西野津 古崎 栄子
 金婚を親子で囲む食事会
 孫の振舞い胸の熱きに
 南鹿野 尾崎 京子
 新聞に載る著書持つ手そのごつき
 我が人生を物語るごと
 西上宮 村内 一誠
 田原坂熱き思想で進みたる
 雨に散りたり十七の春
 吉本 高瀬 道昭
 父母眠る墓前にあれば二羽の蝶
 語らふやふに舞ひつ現はる
 吉本 高橋 澄子

俳句

頬撫る風に叩かれ背を押れ
 自然の中で日々生てゆく
 上鹿島 前村 俊子
 カレンダーめくる度に薄くなる
 月日の流れ速さ感じる
 東上宮 H, O
 孫子らも去りて夕餉や虫の声
 北野津 宮本 末秋
 かなかなや吉野の山も暮れゆきぬ
 北野津 井田 道寛
 宇宙の事話つきなし夜長かな
 西野津 古崎スエノ
 空蟬のさみしく落つる秋の地に
 南鹿野 尾崎 京子
 雷の音にふるえてなく子供
 町 香山菊童子
 空澄めば波打つ稲穂爽やかな
 西野津 古崎 栄子
 夕方の家路へ共に赤トンボ
 吉本 高橋 澄子
 今年また色づく柿と出会えけり
 西上宮 村内 一誠
 野の小径心照して花灯り
 上鹿島 前村 俊子

漱石と家族と「漱石山房の人々」

法道寺 本田 花風

耕三によると「実は筆子を小宮に貰つてもらふのが一番いい」と前から思つてゐたのに、あの去年の夏帰省した時、出し抜けに田舎からお嫁さんを貰つてきてしまつたらあつて、お嫁さんか」とその奥さんの一言があつた。本音は小宮だつたのだ。奥さんは実に寛容で太腹であつた。筆子との親密なひと時も、後日奥さんを除いて一番可愛がつて頂いたのに、養子とすまいことになり、それが主因で、養子の話も自然消滅になつてしまつた。それは、先生の神経衰弱が高じて、先生と奥さんが険悪になつたさい、耕三が先生をかばつて奥さんの意に逆らつた結果としてそつた。たゞめであつた。

「漱石山房」は先生と門下生と、いや、ご家族の生活の中で育まれた生活史話回顧録といえよう。

エピソードを二つ。或る日、武者小路実篤氏の紹介状を持つて二人の若い女性が山房に現れた。彼女は武者小路作「お目出度き老人」のヒロインのモデルであつた。文学の話をするでもなし、自作の原稿を出すでもなし、手持ち無し沙汰なので、先生が場つなぎに「毎日なにをしておますか」と尋ねると、「お裁縫をしておますわ」と、まるで十四、五の小娘がいふようなことを言つて身をくねらせた。そのしなご、コケティッシュといふか、なんといふか、どうにも形容しやうのない、アーティスティックな身振りだつたので、先生は座にあたまれないやうな思ひであつた。(カタカナは感じてください)

投稿について

- ・ 楷書で記入し、漢字には全て読みがなをふつて投稿してください。
- ・ 内容確認する場合がありますので電話番号を明記してください。
- ・ 毎月8日必着
- ・ ※掲載は1人あたり短歌・俳句・詩のそれぞれ一句ずつとなります。
- ・ ※遅れて投稿された場合掲載できない場合があります。あらかじめご了承ください。

投稿先

〒869-4814 水川町島地642番地
 企画財政課 企画係 ☎52・58550

八火図書館「文学散歩」参加者を募集します!

～ラフカディオ・ハーンの熊本時代をたどる～

ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)は、明治24年(1891年)から3年間、熊本の第五高等中学校に外国人教師として勤務しました。「耳なし芳一」「雪女」などの「怪談」がよく知られていますが、「東の国から」や「心」に収録された作品には、熊本を取材した作品が多くあります。今回は、「夏の日の夢」や「石仏」に取り上げられた場所や熊本の「小泉八雲旧居」などを訪れます。ハーンに思いを馳せながら、楽しいひとときを過ごしませんか。

- ◆日時 11月14日(木) ◆行先 三角・熊本市方面
- ◆参加費 2,000円程度(案内・入館料、保険、昼食、写真代など)
- ◆募集人数 20人 ※定員になり次第締め切ります。
- ◆申込方法 10月15日(火)から11月5日(火)までに申込書に記載のうえ八火図書館へお申し込みください。
 ※申込書は八火図書館にあります。

八火図書館 だより



【お問い合わせ】
 八火図書館 ☎62-3489
<http://www.hikawa-lib.jp/info/hakka/>